



12月ほけんだより

令和6年11月29日
はなほこども園

看護師 *****

乾燥する
季節

子どものスキンケア

これからの季節は空気が乾燥し、皮膚も乾燥しやすくなります。乳幼児は皮膚が薄くて水分が少ないため、大人よりも乾燥しやすく、皮膚の乾燥はかゆみの主な原因にもなります。皮膚トラブルを予防するためにも、保湿を心がけましょう。

【乾燥しやすい部位】

乳児期



幼児期



皮膚は乾燥すると角質層がめくれて、バリアー機能が低下してしまうため、異物が入りやすい状態になります。

乾燥しやすい部位は、頬・首・腕・手・足などの外気にさらされるところです。これらの部位を中心に、保湿剤を塗りましょう。また、乳児の場合には、全身を保湿するようにしましょう。

【注意！唇の乾燥】

唇は皮膚が薄く、皮脂も少ないため、乾燥しやすく、少しの刺激でも炎症を起こしてしまいます。また、舌でなめる、歯で唇をこする、上唇と下唇とを押さえつけるなどの動作は唇の荒れにつながります。乾燥しないように、白色ワセリンなどを塗り、保湿を心がけましょう。



【朝とお風呂上りに保湿を】

乾燥対策には、こまめな保湿が欠かせません。朝の着替えや、お風呂上りのタイミングで保湿剤を塗るのがおすすめです。子どもの肌合った保湿剤を選びましょう。



《内科・歯科検診終わりました》

【内科】

全体的に健康状態は良好です。時期的に風邪症状での受診の子も増えており、インフルエンザも少しずつ出始めてきています。またマイコプラズマも多いとのこと。今後も感染症に注意し予防策を徹底しましょう。



【歯科】

むし歯のある子は少なく、治療を頑張っている子も多くみられました。さくら組のお子さんは第6臼歯が生え揃う子もおり、より一層、歯みがきをしっかりとるように話されました。保護者の方々は仕上げ磨きを忘れずに行うようにとのことです。

